



▲育児休暇中の母親らを対象としたカムバックセミナーに付設された一時保育。生後5ヶ月～2歳前の子どもたちをマンツーマン体制でお世話する。

集団保育を活動の中心に

その後、那覇市がファミリーサポート事業を開始したこともあって、これまでの個別支援の保育サービスから、集団預かり保育へと活動をシフトさせていった。

2002年4月、県・那覇市などによる「保育サービス講習会」の修了者が集まり、地域における子育て支援を目的とした有償ボランティアグループとして結成。那覇市がファミリーサポート事業を実施するにあたり、そのニーズ調査を行う上での協力団体として、当初は一人ひとりの利用者ニーズに応じた細やかな保育サービスを行っていた。

保育すけっとinナハの結成

保育すけっとinナハ

集団託児を通して子育て支援

現在、ボランティア登録者は60名。保育士の資格を持つている者や保育講習会の修了者など、自らの子育てにひと段落した40～60代の女性たちが活動の担い手である。

研修会やイベントなど、子育て中の女性を対象とした催事における託児サービスとして、様々な団体から依頼を受ける傍ら、市内2ヶ所の児童館で日曜開館のスタッフとして、また、病院内にある従業者のための学童スタッフとしての活動など集団保育のニーズは多様である。

おやこゆくり場が生み出す効果

2009年1月、連合沖縄からの助成を受けて、久茂地にあるアパートの一室に「おやこゆくり場nukunuku（ぬくぬく）」を開いた。月・水・金の13時から16時まで、スタッフ2名体制で運営。1日に1組から5組程度の親子が利用するが、天気が悪い日は利用者がいないことも珍しくない。

だが、周りに知り合いや友達がいなくてコミュニケーションが苦手という親がぬくぬくを利用していく中で、一緒になった他の親と連絡先を交換し、交流を深めぬくぬく以外の場所でも会うなど、人とのつながりを築き、社会的資源を活用するようになったケースもあったという。「これはとても嬉しかったですし、私たちの目指すところですよ」と、笑顔で福里代表が話してくれた。

安心を支えます

ボランティア活動保険

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

<http://www.fukushihoken.co.jp>



特長

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

ボランティア行事用保険

地域福祉活動の一環として行うボランティア活動に関する各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネージャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

年間保険料 Aプラン...280円 Bプラン...420円 天災タイプもあります

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、取扱代理店にお問合せください。

お申込み、お問合せはあなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人
団体契約者 全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険株式会社